

毒素原性大腸菌の産生するLTのBサブユニットは胸腺由来の $\gamma\delta$ T細胞を増加させる

○辻 孝雄¹、佐々木慶子¹、越智定幸¹、横地高志²
¹藤田保大・医・微生物、²愛知医大・免疫微生物

我々は既にLTのBサブユニット(LT-B)をマウスの腹内投与すると、 $\gamma\delta$ T細胞が上昇することを報告してきた。そこで今回上昇する $\gamma\delta$ T細胞の由来を検索するため、BALB/c,nu/nuマウスとnu/nuマウスにAKRマウスの胸腺を移植したマウスを用いて実験を行った。その結果、LT-Bによる $\gamma\delta$ T細胞の増加は、nu/nuマウスでは観察されず、しかも胸腺を移植したマウスで一部回復した。さらに、移植マウスで増加した $\gamma\delta$ T細胞はBALB/cマウスのThy1-2抗原ではなく、AKRマウスのThy1-1抗原を発現していた。従って、LT-Bによる腹腔内 $\gamma\delta$ T細胞の誘導には胸腺が必要で、しかも胸腺由来の $\gamma\delta$ T細胞が上昇することが明らかになった。そこで、今回毒素シンポジウムの発表では、 $\gamma\delta$ T細胞の上昇が、大腸菌などの感染防御免疫にどのような重要性をもつか討議したい。